

場所前に千代鈴と申し合ひを重ねたそうだが、千代にはまったく勝てない！相性が良くない！優勝するためには千代が星を落とすしかない！とは師匠の磯ノ海親方の弁。

果たして、そのような展開となるか？しかしながら、3日間の相撲を見る限り、十日目まで白星を重ねて行きそうな勢いだ。

新大関西神門は落ちていた取り口で2連勝としたが、三日目に両鬼ヶ嶽に苦杯を喫し



甲●(押し倒し)○西神門

今場所9kg増量して部屋を上げて大関獲るを目指すが、初日に烏帽子岳、二日目に磯自慢に敗れてまさかの連敗スタート。「体重増が災いしたか？」との親方衆の声に首をかしげる師匠の勝間田親方だったが、三日目に宇治家



烏帽子○(押し倒し)●四季嶋



西神門○(寄り切り)●磯自慢



大神楽○(寄り切り)●剛勇山

鉄 甲●(押し倒し)○西神門
降の西神門相撲に注目したい。

た。1敗をしたものの、優勝候補であることは間違いなく。四日目を降の西神門相撲に注目したい。

目指す関脇綱乃花は初日に勝ったものの、二日目、三日目と得意の左差しの体勢に引き落として連敗。1勝2敗のスタートとなった。



烏帽子○(引き落し)●綱乃花



四季嶋●(寄り切り)○磯自慢



綱乃花●(寄り切り)○鉄



甲 月山●(寄り切り)○綱乃花



宇治家●(押し倒し)○四季嶋

今場所の台風の目は小結鬼ヶ嶽。鬼ヶ嶽の活躍で優勝争いはまったく分らなくなった。

この鬼ヶ嶽の活躍を密かに喜んでいるのは磯ノ海親方。優勝争いをするであろう千代鈴と西神門に黒星をつけてくれたのは有難い限りと思われ、援護射撃ににんまりだ。

四日目を降、磯ノ海親方の思うような展開となっていくのか。次回の本場所は6月8日の開催だ。

(綿風)

先場所勝ち越せば幕内昇進となっていた櫻吹雪は、大石丸に吹雪の勢で、大石丸を得意のスタートで炸裂させて好スタート。年齢も30歳となりベテランの域に入ってきたが、念願の入幕に向けこの勢にも四日目を降の相撲期待が高まる。

十両は西旭、櫻吹雪らが3連勝

今場所の十両もベテランから若手まで幕内の座をかけてシノギを削る熱戦が見られそう。その中で幸先よく3連勝としたのは西旭、櫻吹雪、真田丸、千丈岳の4人。西旭は三日間とも左差しから安定した取り口をみせた。

先場所新入幕で活躍が期待されたものの幕内の壁に跳ね返された。リベンジのためにもここは一場所での復帰を期したいところだ。

真田丸は櫻吹雪と同じく十両の上位で苦戦を強いられ、今場所は六枚目に番付を下げた。今場所は番付を上げた戻すべく、はたまた一筋に幕内に駆け上がる成績を残せるか友砂親方の期待に揺るぎはないだろう。



真田丸○(引き落し)●朱雀湖



大石丸●(押し倒し)○櫻吹雪



千丈岳○(寄り切り)●逆元春

新十両の磯ノ海部屋の千丈岳が左差しから勝負進んだ。先場所の幕下優勝で最後の一枠を勝ち取ったチャンスを生かしたところ。

「ぎりぎりに入った力士の方が意外と活躍するもんだよ」と鹿賀乃戸審判長。まずは勝ち越しが目標となるだろうが、一躍台風の目になっていくのか注目されそう。

今場所の上位陣は最年長の玄武岩をはじめ、角武蔵、超刃のベテラン勢と鹿麒麟、西旭、大石丸などの若手の構図となっていて、誰が昇進勝ち取るのかこれも見どころの一つとなっている。

そして新十両では千丈岳の他に、同部屋で磯堂、春日根部屋からは西旭と大石丸にも引けを取らない実力を持つ玉丸、錦風部屋は虹ヶ谷とパクリ四股名で話題をさらった逆本改め逆元春(笑)が名を連ねた。今場所も誰が優勝するのか千秋楽まで目の離せない展開を期待したい。

(山里)

協会の社会貢献活動を紹介します

5月12日に渋谷区スポーツセンターで「第70回渋谷区少年相撲大会」が開催され、別会場の遊び場企画として「紙相撲で遊んでみよう！」が行われ、協会から朝日松理事長と錦風親方が参加した。

その他の企画として、「ゲストの猫ひろしさんによる「かけっこ教室」などが開催された。

紙相撲はイベント用の「青木式紙相撲」に則って子供たちに紙力士の作り方を指導して楽しい一日を過ごしてもらった。

参加した朝日松理事長、錦風親方ともに感想は「子供たちはほんとうに元気だね！」だった。

(綿風)

